

お客様紹介

キシ・エンジニアリング
株式会社 様

〒693-0064

島根県出雲市里方町893-5

TEL 0853-23-6383

FAX 0853-23-7367

URL <http://www.kishieng.co.jp>

「奉仕が先、利益があと」

「自分と同じ立場に身をおく人たちのために役立ちたい」その原動力となるのは娘さんへの思いです。

脳障害を持つ娘さんのために、呼吸が楽にできて夜はぐっすり眠れるように呼吸トレーナーの開発を、また指1本で動かすことが出来るリフト付電動車椅子…と数々の機械を生み出しました。「世界中の脳障害で苦しんでいる人々を助けたい」という一途な思いがあります。そして、それで儲けようという考えは全くありません。世界中から感謝の手紙が続々と届き、その喜びの声が岸社長を更に奮立たせるのです。

現在は、産業用機械・ロボットの注文生産が7割、医療福祉機器の研究開発生産が3割で、産業用機械・ロボットの製造で稼ぎながら、採算を考慮せず、障害を持つ人々のために自立できる機器をつくっているのです。自社製品もたくさん持っています。例えば、大学病院と共同研究した検査装置や人工呼吸器などです。脳障害者は、酸素

欠乏状態であり、酸素を補給すると発作が減り、また身体の硬直が緩和され、言葉が出やすくなるなど改善されます。毎月、何台か製作し、国内外へ送っています。



岸社長



福田様(写真右)と園山様、
技能集団です。卓越した

医療・福祉機器の開発にあたって、障害を持つ人々との付き合いが始まり、その症状や不便さが理解できるようになりました。障害を持つ方々の状態を自ら体験しないと的が外れてきます。どうしたら喜ばれるのかが解りません。

製作している機器は、介護してもらうというより、機器を使って自立を目指す商品に特化しています。利用者さんが望んでいるのは、自立するための福祉機器なのです。

「一時の利益のためでなく、長い目で信頼関係を続けていきたい。決して会社を大きくしようと思わない。技術を特化して、そのレベルを高くする。難しい商品を開発できる会社にしていきたい。

困っている人はいるが、世の中のニーズが少なくてなかなか商品化されないものがあります。そういったものも違う発想から考えていきたい。社訓である『スピード』と『シンプル』をもって。

また、人を大事にする会社でありたいと思う。『利他の心』を大事にしたい」と、岸社長から、大変心強いお言葉をいただきました。

日本の誇りにしたい会社が、地元出雲にあり、大変名誉に思います。

(聞き手：長野)

リフト付電動車いす「リフティ」：指一本で前後左右・上下動ができます。ベッド・トイレ・食卓などでもひとりで移動できます。大きな車輪で段差も楽に越えられ、障害者が一人暮らしができるのです。



出雲養護学校体育祭参観

平成25年度出雲養護学校中等部・高等部体育祭に出席させていただきました。瀨摩・大田分教室も参加され、総勢210名の大規模な体育祭となりました。

開会式において、野津教頭先生から、次のようなお言葉がありました。「自分の目標に向かってがんばりましょう。中・高等部を越えて、友達と一緒に応援の時間も大事にしましょう。」

生徒会長からは、「練習を活かして、中・高協力し思い出に残る体育祭にしましょう。今日一日楽しくすごしましょう」と元気な挨拶がありました。

出雲ドームいっぱいに応援の歓声があがり、みなさん元気に競技を行いました。私たちも精一杯声援をおくり、元気をいただきました。(長野)

出雲ドームで行われた体育祭の様子。



「縁が広がる」

お客様との新たなお付き合いが始まりました。お客さまから依頼された実績報告に素早く対応し、お客さまから喜びの声をいただいた。会社に本が沢山ある事を知ったお客さまから、貴重な本を寄贈していただいた。新たに当社とお付き合いをして頂いたお客さまから「これも縁だからねえ」と暖かい言葉をいただいた。等、最近このようなお客さまとの良い関係が次々と報告された。

創業以来、多くの先輩方が築き上げてきたお客さまを大切にする風土が、今の社員に伝わり、少しずつ広がってきているように思う。

新しい期が始まり、社員一人ひとりが新たな気持ちで、「お客さまお助け業に徹する」という会社の理念を、具体的な行動に移してお客さまとの良い縁をもっと広げよう。

(安原)

「木を植えた人」を 読んで



何も生えていない荒れ果てたところに、鉄の棒を地面に突き刺し穴ができると、どنگり、樫の木を植えている。何万個の実を植えても、そのうち半分は育たない。

自分はこれだけの事ができるだろうか。ただ一人では無理だと思う。けれども、何もなかった土地に樫の木は育つだろう。

一人で始めたことが、二人になり、三人になれば、きっと荒れた土地にも花や木で森ができると思う。

まず自分で出来ることからやってみることが大切だと感じます。(石橋)

元気の出る言葉

中村天風師

人間は、怒ったり争ったりするために生まれてきたんじゃない

人の命は決して長くはありません。だから、時を同じくしてこの世に生きる人間は誰かれなく、笑顔で接するのが当然でしょう。笑うことを習慣付けていけばいいのです。本当に幸福を感じて生きるためにおおいに笑いを活用すべきです。(長野)



「ウツギ」〇〇ウツギとしてたくさん花があります。

社長が薦める今月の一冊

真人生の創造

中村天風講話集(CD全3枚・書籍付)
監修 財団法人天風会 著作 PHP 研究所



初めて中村天風師を学んだのは、日本経営合理化協会から発刊された「成功の実現」でした。以来「盛大な人生」「心に成功の炎」を、むさぼるように読みました。感銘を受けたところに赤線を引きました。

その後、読みやすい「君に成功を贈る」を、今繰り返し読んでいます。

そして「魂に響く声」と表現される、中村天風師の肉声をCDで聴いています。CDなので、くり返しくり返し聞いているうちに、教えが自然に心の中に積み重なっていくのを感じます。

昭和20年代のほとぼしるような講演から、昭和40年代最後の講演まで収録されています。「つつまじやかに人生を本当に尊く考えて、生きる日日を人間として恥ずかしがらない生き方」を説く中村天風師から、直接教えを受けているように感じ、心豊かになります。

「怒らず、怖れず、悲しまず」 (昭和31年収録)

くーっと悲しかったり、はっと腹が立ってきたり、あっとびっくりするようなときに、自分の心をはっと立ち返らせなきやいけませんよ。

そして終始、人の欠点は見ないでもって、人をほめることを心がけ、そして自分は最善を尽くそうということに努力しましょう。ね？

*CDをお貸しします。ぜひ直接教えを受けてください。
ただし貸出可能期間は1週間以内、無料です。 (山根)

編集後記

表紙記事のように、智頭町の鳥取営業所でイカルチドリという鳥が卵を4個産み育てています。産卵数は4個が普通で、雄と雌が交代で卵を抱いて4週間ほどでヒナが生まれます。ヒナは巣の周辺を歩き回りながら虫などを食べて成長し、3~4週間で飛べるようになって分散していくそうです。

このたびは名前が解らず、米子水鳥公園へ照会しいろいろな情報を得ることが出来ました。

米子水鳥公園は、中海の東端にあり、一年を通じて、水鳥をはじめ様々な生き物たちの営みを観察できる貴重な湿地となっています。

また、指導員による様々な自然体験・環境学習プログラムが体験でき、より身近に水鳥やその環境に接することが出来るのです。季節によって、様々な生き物に出会える素敵な公園です。是非皆さんも行ってください。夏には、カイツブリ・カルガモ・オオヨシキリ・アマサギ・イトトンボなどが観察できます。

(長野)

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。本代は¥1,890です。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名に鳥取名産大栄スイカを差し上げます。クイズの締切は6月末です。奮ってご応募下さい。

Q: 今月は鳥に関する問題です。
鳥取県の鳥は何でしょう？



先月号の答は、「1977年 王 貞治」でした。
三次市 松島様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着情報

・海賊とよばれた男 上・下 百田尚樹 講談社
木村兼義商店 社長 木村様よりご惠贈賜りました。
ありがとうございます。

・ロバスト経営 飴久晴 日本経営合理化協会
・黄禍論と日本人 飯倉章 中公新書
・アメリカ黒人の歴史 上杉忍 中公新書
・ディズニー ありがとうの神様が教えてくれたこと 鎌田洋 ソフトバンククリエイティブ(株)
・はだしのゲン わたしの遺書 中澤啓治 朝日学生新聞社

発行日: 毎月10日
発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472
山陰興業(株) ECOS通信編集部 長野
E-mail: h.nagano@e-skk.co.jp
印刷: 授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします 本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。
営業マンや当編集部へ遠慮無くお申し付け下さいませ。



珍しいお客さま ようこそ ～ けなげに巣作り がんばれイカルチドリ! ~



このあたりに産卵しています

イカルチドリが時々卵を温めにやってきます。しかし、心配そうです・・・。



イカルチドリが卵を4つも産みました。無事にふ化しますように。

鳥取営業所が竣工し、まもなく1年になります。緑色のタンクは周囲の山々や田園風景に馴染んできたように感じます。プランターの花々が地域の人々の目を楽しませているようです。

最近、イカルチドリが、構内一般取扱所横の砂利のうへに卵を産み、育てているのです。タンクローリーが積み込みをしても動こうとしません。鳥にとっても安心できる施設なのでしょう。

自然豊かな智頭のまちで、鳥にも受け入れられたと感じます。これからますます地元密着で、地域のお客さま(鳥たちにも)のお役に立ちたいと考えます。

(長野)

*イカルチドリ: 一年中見られる鳥で川の中流域や内陸の小川、池などの岸辺に生息します。今頃、砂礫地に小石そっくりの卵を産んで子育てをします。鳥取県では準絶滅危惧種に指定されています。(米子水鳥公園様から情報収集しました。)



一人ひとりが感動を発信する

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

最新刊の「ディズニー ありがとうの神様が教えてくれたこと」の冒頭にこんな表現があります。

あの大地震から約1ヵ月。復旧のため休園していた東京ディズニーランド再開の日。ゲートが開くと、キャストも久しぶりの友人との再会のように、満面の笑顔でゲストを出迎える。パークのあちらこちらで、キャラクターたちと抱き合い、喜び合うゲストの姿。

交通機関も寸断され、陸の孤島になったパークで震えるような気温の中、夜を明かした人もいた。だが、もしもそのときに辛い経験をしていたら、いくらディズニーが大好きでも、こんな風に再開の日に駆けつけたりはしないだろう。

その訳とは、「ありがとう」を伝えるためだ。

同じ人間として、ゲストを包み込むような行動で「安心を与えてくれた」キャストに対して、どうしても「ありがとう」が言いたい。

未曾有の事態の中で、いったいどうして、ゲストとキャストの双方が「ありがとう」と言いたくなるよう

このようにお客様の喜びのために懸命に尽くす喜びや思い出が、自分の心を強く動かし、感動させるのです。この感動の力をお客様に伝えるには、私たち社員一人ひとりがまず自らに発信して、感動する。そしてその感動を強く振動させると、次は他の社員が「そのとおりだ」と共鳴し、感動の輪が広がる。

まず自らが発信し、共鳴する。その一人ひとりが震源になり、今度は会社全体で共鳴し合い、さらに地域にまで感動の輪を広げていく。

これからの人口減少、需要の縮小の時代こそ、商品に感動を込める。サービスに感動を込める。社員一人ひとりが感動を持ってお客様に尽くす。社員はお互いに発信し、共鳴し合い、感動の輪を広げる。

つねにお客さまに感動を差し上げ、お客様の要望を充たす。このようにお客様に尽くし続けることによって、私たちも豊かにしてもらえるのです。

*上記の「ディズニー ありがとうの神様が教えてくれたこと」は蔵書です。

私はこう考え、こう実行します

【安原】自らの商品、サービスに惚れ込むくらい思いを込め、感動できるまで高める。

【松下】お客様の要望に対し、素早く対応してあげることから始める。

【河上】お客様の都合に合わせて行動する

【岸本】お客様の立場で考え、感動していただけるサービスや商品を提供する

【福岡】お客様に感動していただけるサービスを提案・提供します。

【福島】電話依頼を受けた後は即対応に努める。

【木村】ありがとうと感動してもらえる製品をつくり続ける。

【吾郷】まわりの人から、「ありがとう」といっていただけるように、まわりの人たちに尽くします。

【山口】私は作業の一つ一つをもう一度見直し、感動を持ってお客様に尽くします。

【大國】心の底から伝えたい「ありがとう」と満足・感動の「ありがとう」を一つでも増やし積み重ねる。

【木村憲】ありがとうの心を忘れない。

【榎並】お客様に満足していただけるように皆で協力をして対応していきます。

【岡田】お客様に感動を伝えることが出来る作業を行うよう心掛けます。

【高橋】私はお客様に尽くす商品、感動してもらう商品は何かを考え行動します。

【松本】お客様に喜んでいただけるサービスを発信し、感動の輪を広げます。

【横地】お客様への収集時、お客様から笑顔で迎えていただけるように、自分からいつも笑顔で訪問の挨拶をします。

【植尾】自分の出来ることを確認し、さらに向上させる。

【小村】感動とは何かを常に考え、サービス等を向上させる。

【恩村】感動を伝えることのできるお客様対応を心掛けます。

【長谷川】日々の業務で、こうしたい・あしたいと常に考える。

【藤原卓】毎朝きれいな玄関であるよう、玄関掃除をがんばります。

【金森】お客様の要望には早急に応えます。

【藤原】もっと周りの状況を確認し、安全に作業を行います。

【安達】笑顔で心掛けて配達させていただく。

【田中】お客様に喜ばれる仕事を指します。

【野々村】お客様に喜んでいただけるように日々の業務に努めます。

【中村】現場にて、整理・整頓・清潔・清掃・安全(KY)を徹底し、安全作業が出来るように常にチェックして作業を行います。

【清水】私は、お客様の要望を受け、お客様に尽くしたいと思います。

【石橋】お客様に感動してもらえる仕事をし、また、お客様からも感動することを教わりたい。

【足立】私はお客様に感謝の気持ちを持って対応することを心掛けます。

【長谷川真】お客様の喜びの声を上げます。

【長野】エコス通信で感動の輪を広げ、お客様を増やしていく。



フナバラソウ（船腹草）。夏の終わり頃人の小指くらいの実が付きまます。この形が船底（下から見た船の腹）に似ています。



中村さん、おめでとう！！

島根県産業廃棄物協会 平成25年度優良従事者として、中村社員が表彰されました。

入社して14年、自身の病気などの理由で休むことは1日もなく、元気に勤務されました。

定年後も継続して勤務することになり、現役社員と一緒に現場作業に従事するとともに、廃棄物処理作業についても率先して行っています。作業で出た廃油取扱に関して、慎重にかつ確実に処理し、廃棄物置き場がいつも整理整頓されています。

また、大手自動車メーカーでの作業において、道具類が使用途中でも整然と使いやすいように並べられ、自らが率先して5S活動の中心となり、お客様から高い評価をいただいています。きちんとした5S活動が産業廃棄物処理にもつながると思います。責任者をサポートしながら、スムーズに安全な作業ができるよう最大の配慮が出来たと思います。 (長野)

《中村社員受賞のことば》

他業種からこの産業廃棄物処理業界へ移り、約14年の歳月が経ちました。入社当時は言われるままの作業でしたが、月日と共に環境問題からの産業廃棄物処理がクローズアップされることにより、産業廃棄物処理従事者として、重要性を強く感じるどころです。今後においても、環境汚染をさせない作業に徹したいと思います。



品質管理がきちんと出来、とても助けられたと思います。これからも、若手社員を指導し、産業廃棄物処理業者として地域の環境を最大限に守ってほしいと思います。

うれしい便り

東西オイルターミナル株式会社 社長 斉藤様から次のようなメールをいただきました。

ＪＸホールディングス 渡相談役の著書『未来を拓くクールエネルギー革命』をライブラリーの蔵書にいただいただき、田中様の感想まで載せていただきました。

ＪＸグループ会社の者として、とても有難く、嬉しく思いましたので、一言御礼のメールを差し上げる次第です。編集長様にもよろしくお伝えください。

エコス通信の記事に関して、メールをいただいたのです。そこまで読んでいただき、大変うれしく身が引き締まる思いです。

近々、取材の予定です。ご期待ください。

(長野)



合格おめでとう

高橋さん

「フォークリフト運転技能講習」

安全運転で安全作業をお願いします。



「タカノツメ」若芽は山菜として食べられる。山菜の女王「コシアブラ」と同じ仲間です。